

校長室通信

平成24年度 第19号

下野市立南河内第二中学校

発行者 横島 清

H24. 11. 22

1 学習の秋 1, 2年生後期中間テスト・3年生実力テスト実施

晩秋の色合いが濃くなり寒さが一段と増してきました。そんな中、今日は、1・2年生が中間テスト、3年生は実力テストがありました。まさに、学習の秋本番です。また、各学年とも下記のように各種行事があり先週から今週にかけて密度の濃い期間となりました。

2 1学年PTA企画

「ピアノ5重奏をライブで味わう」開催

16日(金)に1年生は、ピアノ5重奏を堪能しました。普段聞き覚えのある楽曲を、プロの方の演奏で間近で味わうことができました。子どもたちにとって、中間テストへ向けてのリフレッシュとなりました。アンコールでは、二中祭全校合唱曲「光の射すほうへ」を演奏してくださいました。個人的に、この曲に弦楽器はとてもよくあっていると感じました。途中から、萩原さんの誘導で生徒の合唱も入り素敵な雰囲気で行うことができました。慌ただしい毎日の中で、つかの間の心癒される時間でした。素晴らしい企画をありがとうございました。

息もピッタリ



感謝の花束贈呈



3 2年生「AED講習」～受講者全員に「普通救命講習修了証」を授与～

2年生は、15日(木)と16日(金)の2日間にわたり、石橋消防署より救急救命士及び消防署員の方が来てくださり、救急救命法を学習しました。心肺蘇生法の手順と胸部圧迫・人工呼吸の方法およびAEDの使用手順を3時間かけて実習しました。

現在、公的機関はもとより、主なビルや事業所にはわかりやすい場所にAEDが設置されています。AEDは、使用法が分かれば人命を救助できる便利な道具ですので、今後、万が一に遭遇したときには、自信を持って活用できることと思います。



心肺停止確認



AEDを装着し胸部圧迫

4 3年生「思春期講座」受講

20日(火)には、市の保健師さん2名が来校して下さり、3年生に思春期講座を実施してくださいました。小学校の時も受講したとのことですが、理解力も深まり客観的に自分や物事を捉えられるようになったのが、時期的にも良かったようです。男女1名ずつの感想を記載します。

今日は、僕たち3年生のために、思春期講座をしていただき、ありがとうございます。いい印象に残っていることは、自分を認めることが大切だということです。また、性感染症の怖さなども知ることができました。自分は、全然、思春期のことを理解していなかったのだと、改めて感じました。今回の講座を通して、思春期のことをよく理解するとともに、色々気をつけなければならないと感じました。また、ビデオを見て、出産の大変さや親への感謝も改めて感じました。異性のことも理解しなければならないということも感じました。



(3年生男子)

私は「自己決定」の大切さを改めて感じました。私は自分の意志が弱くはっきりしないので、周りに合わせるばかりです。しかし、恋愛だけでなく様々な場面で、自己決定が必要になると分かったので、日々の生活から改善していきたいと思います。私は最近、親とあまりうまくいっていません。けれど、今日の「うまれる」のビデオを見て、命がけで自分を生んでくれ、もっと日頃から感謝の気持ちを持たなければならないと思いました。私は、人生で子供を産む日が来るかは分かりませんが、もしその時が来たら強い女性として、母として命がけでその子供を産みたいです。そのためにも、自分を否定ばかりせず肯定し、しっかりと自信を持って親になりたいです。

(3年生女子)

全員の感想を読ませていただきましたが、生まれる前の記憶がある、あったという生徒が3人いました。講演を聞いて生徒達は「生きる」ということ「生を受けたありがたさ」を真剣に受け止めたようです。また、両親への感謝の心が芽生えるなど、大きく心が動いたようです。自己決定の大切さが分かった、自分を好きに、そして、大切にしたいという意見が多数ありました。ますます頑張れ3年生。

5 選挙管理委員会設置

先日は、栃木県知事選挙がありました。また、12月には、衆議院選挙が実施されます。本校でも、生徒役員選挙が12月に行われます。平成25年度の二中を託す大切な選挙です。その選挙のための選挙管理委員会が設置され活動を開始しました。生徒達は、学校での多くの行事を経験し社会的資質を身に付けていきます。しっかり応援していきたいと思えます。

生徒会選挙の活動が始まりました。第1回の選挙管理委員会もスタートしましたが、全員真剣に話を聞き、誠実な行動をとってくれています。今後もしっかりと活動していきたいと思えます。
(担当教員の週案より)

6 立志実行委員会始動

2年生は、学年で最大の大切な行事「立志式」を1月の末に控えています。そのための実行委員会が設置され既に活動を開始しています。竹に節があるように、人生のいくつかの節目に当たり自分を見つめることはとても有意義なことです。立志式に向かう活動を通して、2年生が一回りも二回りも大きく成長することを、学校全体で支援していきたいと思えます。

立志式に向けて動き始めた。実行委員会もスタートし、組織として動き出すところである。立志の作文についても、こちらで手直しを入れ清書させた。一言もしゃべらず、集中して清書に取り組んでいた。その後の行動が変わってきた。自分のこれから、今までの自分と向き合うことで変化した生徒が多い。楽しみである。
(2学年職員の週案より)

7 登下校の交通安全と下校時等の安全確保に注意

以前からお知らせしている登下校時の道路の通行の仕方ですが、改善されている点とそうでない点の指摘をいただいています。学校周辺での通行の状況は良くなってきていますが、学校から離れるほど良くない状況である。指摘をいただいた特定の場所の通過については良くなった部分が多い。

特に注意する点『一時停止を必ず守る』です。

不審者に注意

朝の登校で、自転車使用時に、西側遊歩道（北進）から学校の方に右折する際、一時停止しないでそのまま飛び出してくるので、事故に遭う可能性が高く心配でならない。との話がありました。確かにその通りです。事故に遭ってからでは手遅れです。自分の命は自分で守るのですから、一時停止はどんな時でも必ず守り、安全を確保してください。

祇園原公園と恐竜公園で抱きつき事件が続けてありました。生徒には、指導してありますがご家庭でも暗くなってからの外出等には気をつけるようご指導ください。ポイントは、一人にならないという事です。

8 英語科の週案より

県のスピーチコンテストが終わった。ここ2週間ほど何度も何度も練習をくり返し、しつこいと思われるほど細かいところまで注文をつけ、修正し、原稿を読み込んでいた。そして最優秀賞を一人の生徒が帰ってきてとても嬉しかった。他の生徒達も、また、来年チャレンジしたいと既に意気込みを見せてくれ、良い形で皆終わったと、彼らの表情から感じる事ができた。

[保護者からの学校評価について]

お忙しいところ、学校評価にご協力いただき、ありがとうございます。次回、学校長通信第20号より、紙面を利用してご意見へのご返事をしていきたいと思えます。

これでいいのかと思いながらやっている話

私が育てている植物は、鉢数で100を越えます。同じ種類が数鉢ずつありますので、種類はそんなに多くはありません。夏の間は、毎日の水やりが楽しみです。新芽が出て花が咲き実がなり紅葉する。半年間楽しみました。いよいよ冬越しです。寒さに弱くどうしても部屋に入れなければならないシンビジュームなどを除き、カエデやマユミ、アジサイ、バラ、山野草などは、今のこの時期に土の中に埋めてしまいます。もちろんカエデなど枝のある

ものは鉢の部分だけを埋め、枝は地上に出ています。そして、このまま春3月を迎えるわけです。防寒対策、乾燥対策としてこのようにしていますが、鉢物の冬越しはこれでよいのかと、毎年思っています。経験からしていることですが、毎年元気に冬越ししてくれているので、まあいいかという心境です。

鉢並べ 元気を祈る 霜月に